

10月15日(土)

第1会場 (タワーホール船堀5階 大ホール)

9:00～10:30 シンポジウム 11

【サイコオンコロジストとは何者か？】

座長：増田 昌人 (琉球大学病院 がんセンター)

四宮 敏章 (奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター)

SY11-1 サイコオンコロジストとは何者か？がん患者の精神症状を専門とする医師の立場から

小早川 誠 (広島赤十字・原爆病院 精神科)

SY11-2 サイコオンコロジストの出会いでがん患者の心理や精神症状をケアに活かす

林 糸り子 (横浜市立大学 医学部看護学科がん看護学)

SY11-3 サイコオンコロジストとは何者か？

-心理職からみたサイコオンコロジストに求められるもの-

伊藤 嘉規 (名古屋市立大学病院 臨床心理室)

SY11-4 自殺予防とサイコオンコロジストの役割

稲垣 正俊 (島根大学 医学部精神医学講座)

10:40～11:40 教育講演 3

座長：明智 龍男 (名古屋市立大学病院／名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野)

【文化人類学から考える3つの人間観】

磯野 真穂 (東京都外国語大学)

13:00～14:00 教育講演 4

座長：内富 庸介 (国立がん研究センター がん対策研究所)

【サイコオンコロジーに役立つ臨床精神薬理】

下田 和孝 (獨協医科大学 精神神経医学講座)

14:40～16:10 シンポジウム 12

【COVID-19 流行下における心理療法の実際】

座長：大谷 弘行（聖マリア病院 緩和ケア内科）

小川 祐子（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

SY12-1 医療者のレジリエンスを育む—マインドフルネスとコンパッションによる心理支援について—

朴 順禮（慶應義塾大学 看護医療学部 / 同大学病院 緩和ケアセンター）

SY12-2 不眠障害における在宅セルフコーピングの実際

蓮尾 英明（関西医科大学 心療内科学講座）

SY12-3 COVID-19 流行下における、慢性疼痛へのオンライン集団認知行動療法の実践

倉田 明子（広島大学病院 精神科 / 緩和ケアセンター）

SY12-4 コロナ禍での患者家族支援の実践報告

坂田 尚子（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）

SY12-5 当たり前ができない状況下での患者・家族・スタッフ支援

伴 敏信（医療法人協仁会 小松病院 緩和ケア科 在宅医療科 精神科、滋賀県立総合病院 精神科）

第2会場 (タワーホール船堀5階 小ホール)

10月
15日

第2会場

9:00～10:30 シンポジウム 13

【がん医療における死生観を考える】

座長：吉川 栄省（日本医科大学 医療心理学教室）

大庭 章（群馬県立がんセンター がん相談支援センター 相談支援課）

SY13-1 「最期まで生ききる」を支えるチームケア：

岐阜県沼口医院メディカルシェアハウス「アミターバ」の事例から

浮ヶ谷幸代（相模女子大学 名誉教授）

SY13-2 がん医療における「死生観」～緩和ケア医の立場より

森 雅紀（聖隷三方原病院 緩和支援診療科）

SY13-3 精神科医とサイコオンコロジストにとっての死生観

保坂 隆（保坂サイコオンコロジー・クリニック）

13:00～14:30 シンポジウム 14

【腫瘍医と緩和医のギャップを埋めるには】

座長：久保田 靖子（埼玉県立がんセンター 血液内科）

SY14-1 緩和ケア医が聴く患者・家族の語る見捨てられ感について

齊藤 英一（東京都健康長寿医療センター 緩和ケア内科）

SY14-2 後悔のない日々を生ききるために～体験から願うこと～

轟 浩美（認定NPO法人 希望の会）

SY14-3 なぜ「見捨てられた」と私たちは感じたのだろうかー遺族の立場からー

野田真由美（NPO法人支えあう会「α」副理事長）

SY14-4 腫瘍医が緩和ケア医へ患者さんをつなぐときの想い

藤阪 保仁（大阪医科薬科大学 内科学講座腫瘍内科学）

14:40～16:10 事例検討 3

【こんな時看護師と心理士はどう動く？】

座長：小池真規子（目白大学 心理学部）

幸田 るみ子（静岡大学 学術院人文社会科学領域）

CA03-1 がん患者・家族のための多職種チーム医療における看護師の役割

山本 真由美（自治医科大学附属病院 看護部）

CA03-2 がん患者・家族のための多職種チーム医療における心理士の役割

山本 理栄（自治医科大学附属病院 こころのケアセンター）

指定討論：幸田 るみ子（静岡大学 学術院人文社会科学領域）

第3会場 (タワーホール船堀 2階 瑞雲・平安)

9:00～10:30 **シンポジウム 15**

【オンライン研修プログラムの開発と実装：コミュニケーション・スキル・トレーニング】

座長：秋月 伸哉 (駒込病院)

SY15-1 オンライン CST の概要 - 開発経緯と特徴を中心に -
渡邊 裕美 (こころの総合診療室 Canal 勾当台)

SY15-2 オンライン CST 開催実績、アンケート結果、今後の課題
岡澤林太郎 (市立釧路総合病院緩和ケア内科)

SY15-3 医師を対象とした思春期・若年成人 (Adolescent and Young Adult: 以下 AYA) 世代がん患者とのコミュニケーション技術研修会開発
岡村 優子 (国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップTR研究部)

SY15-4 オンライン CST の Tips
矢野 和美 (国際医療福祉大学)

10:40～11:40 **教育講演 5**

【寄り添いハラスメント】

座長：厚坊 浩史 (がん研有明病院 腫瘍精神科)

「寄り添い」を再考する。

佐伯 吉規 (がん研有明病院 緩和治療科)

「寄り添いハラスメント」から考える、「寄り添い」って何だろう

谷島雄一郎 (ダカラコソクリエイト 発起人・世話人 / カラクリ Lab. オーナー
大阪ガスネットワーク株式会社 事業基盤部 コミュニティ企画チーム)

11:50～12:50 **ランチョンセミナー 3**

共催：株式会社ツムラ

座長：松岡 弘道 (国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科長)

【フレイルや認知症性疾患における漢方の使用経験～総合病院精神科で役立つ漢方薬～】

上村 恵一 (国家公務員共済組合連合会 斗南病院 精神科科長/診療サポート室長)

13:00～14:30 シンポジウム 16

【精神病性疾患を有するがん患者の対応】

座長：櫛野 宣久（聖マリアンナ医科大学 緩和医療学）
榎戸 正則（国立がんセンター東病院 精神腫瘍科）

- SY16-1 精神疾患患者のがん医療をどのように支えるか - 無床総合病院精神科医からの考察 -
貞廣 良一（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）
- SY16-2 精神病性疾患を有するがん患者への対応～精神医療を専門にしていない看護師の立場から～
宇津木 智子（がん研究会有明病院 緩和ケアセンター）
- SY16-3 精神症状を有するがん患者の対応ソーシャルワーカー・公認心理師の立場より
岩路かをり（神戸市立医療センター西市民病院 地域医療在宅支援室）
- SY16-4 訪問診療、在宅医療における精神科医の役割
中野 輝基（医療法人社団悠翔会）

14:40～16:10 シンポジウム 17

【この暴力、暴言にいつまで耐えたらいいの？】

座長：大矢 希（京都府立医科大学病院）
齋藤 円（市立ひらかた病院 精神科）

- SY17-1 この暴力、暴言にいつまで耐えたらいいの？～看護師の立場から～
岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）
- SY17-2 倫理面からみた患者からの暴力、暴言、クレーム
瀧本 禎之（東京大学医学部附属病院心療内科 / 患者相談倫理センター）
- SY17-3 暴力・暴言への対応：医療安全、紛争回避・解決の立場から
藤澤 大介（慶應義塾大学 医学部 医療安全管理部 / 精神神経科）

第4会場 (タワーホール船堀2階 福寿)

9:00～10:30 シンポジウム 18

【がん患者の治療と就労の両立と終業の意思決定支援】

座長：福井 里美 (東京都立大学 健康福祉学部看護学科)
久村 和穂 (金沢医科大学 医学部公衆衛生学)

SY18-1 治療と職業生活の両立におけるストレスマネジメント

平井 啓 (大阪大学大学院 人間科学研究科)

SY18-2 働くことを仲間と支え合うサポートグループ「就労リング」の紹介

橋本久美子 (学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 相談支援センター)

SY18-3 経済的な支援のためのツールを活用した働くことの意味のアセスメントと退職の意思決定支援

賢見 卓也 (NPO 法人がんと暮らしを考える会)

SY18-4 社会保険労務士が関わるがん患者の就労選択における意思決定支援事例について

近藤 明美 (近藤社会保険労務士事務所／一般社団法人 CSR プロジェクト／NPO 法人がんと暮らしを考える会)

10:40～11:40 教育セッション 3

【難しさを抱える患者へのがん相談支援】

座長：品田 雄市 (東京医科大学八王子医療センター)
齋藤 円 (市立ひらかた病院 精神科)

EL3-1 患者や医療者への対応に難渋するケース－評価や関わり方のコツを考える－

井上真一郎 (岡山大学病院 精神科神経科)

13:00～14:30 シンポジウム 19

【がん患者の精神症状に対する静脈内投与の薬物療法を再考する】

座長：井上真一郎 (岡山大学病院 精神科神経科)
大矢 希 (京都府立医科大学病院)

SY19-1 難治性せん妄に対するクロルプロマジン・レボメプロマジンの静脈投与・皮下投与

矢吹 律子 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)

SY19-2 がん患者におけるヒドロキシジンの使用

原島 沙季 (東京大学医学部附属病院 心療内科)

SY19-3 心不全患者に対するデクスメトミジンをを用いた緩和的鎮静

大森 崇史 (福岡ハートネット病院 総合内科・循環器内科)

SY19-4 不眠・不穏時を設定、使用する前に考えたい3つのこと

北浦 祐一 (パナソニック健康保険組合 松下記念病院 精神神経科)

【わたしにもできる明日からできる困難事例への対処法】

座長：井上真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

野村 優子（がん・感染症病院都立駒込病院 看護部 緩和ケアセンター リエゾンチーム）

SY20-1 当院における困難なコミュニケーションの状況調査

伊地知 盛夫（公立八女総合病院）

SY20-2 否認が疑われる AYA 世代のがん患者へ心理・社会的関わりについて振り返る

村口 さつき（国立病院機構 大阪南医療センター）

SY20-3 怒りを表出する患者への対応にカンファレンスが有効だった一例 - 心理職の視点から -

丸山 睦（栃木県立がんセンター）

第5会場 (タワーホール船堀 2階 桃源)

9:00～10:30 **シンポジウム 21**

【ガイドライン：せん妄】

座長：長谷川貴昭 (名古屋市立大学病院 緩和ケアセンター)

谷向 仁 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻)

SY21-1 **せん妄ガイドライン 臨床疑問 2 せん妄予防 抗精神病薬**

貞廣 良一 (国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科)

SY21-2 **せん妄ガイドライン 臨床疑問 6 トラゾドン**

原島 沙季 (東京大学医学部附属病院 心療内科)

SY21-3 **がん患者におけるせん妄ガイドライン 2022 年版の概略**

松田 能宣 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター 心療内科)

SY21-4 **シンポジウム ガイドライン『せん妄』**

菅野 雄介 (東京医科歯科大学 在宅・緩和ケア看護学分野)

SY21-5 **せん妄ガイドライン 臨床の手引き**

竹内 麻理 (慶應義塾大学医学部精神・神経科/緩和ケアセンター)

10:40～11:40 **J-SUPPORT 企画 2**

【進行がん患者への ACP 促進の複合介入】

座長：白井 由紀 (京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 緩和ケア看護学分野)

JS2-1 **進行がん患者への ACP 促進の複合介入有効性評価のための無作為化比較試験：J-SUPPORT1704**

藤森麻衣子 (国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップ TR 研究部
/行動科学研究部)

10月
15日

第5会場

【ガイドライン：気持ちのつらさ】

座長：藤澤 大介（慶應義塾大学医学部 医療安全管理部／精神神経科）

藤森麻衣子（国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップ TR 研究部／行動科学研究部）

SY22-1 チラ見せ「がん患者における気持ちのつらさガイドライン」

テーマ：抗不安薬・抗うつ薬は推奨されるか

小早川 誠（広島赤十字・原爆病院 精神科）

SY22-2 チラ見せ「がん患者における気持ちのつらさガイドライン」

がん患者の気持ちのつらさに心理療法は推奨されるか

柳井 優子（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

SY22-3 チラ見せ「がん患者における気持ちのつらさガイドライン」

テーマ：がん患者の気持ちのつらさに協働的ケアは推奨されるか

馬場 知子（自治医科大学附属さいたま医療センター）

SY22-4 進行がん患者の気持ちのつらさに早期からの緩和ケアは推奨されるか

阿部 晃子（慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室）

SY22-5 チラ見せ「がん患者における気持ちのつらさガイドライン」

- がん患者の気持ちのつらさに介護者（家族など）への支援は推奨されるか -

浅海 くるみ（東京工科大学 医療保健学部看護学科）

SY22-6 チラ見せ「がん患者における気持ちのつらさガイドライン」

テーマ：がん患者の気持ちのつらさに、ピアサポートは推奨されるか

吉川 栄省（日本医科大学 医療心理学教室）

SY22-7 成人がん患者の再発恐怖に対して、心理療法（あるいは心理療法以外の介入）は推奨されるか

竹内 恵美（国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部）

ポスター会場 (タワーホール船堀 1階 展示ホール)

14:20 ~ 14:50 (発表者在席時間)

- P26** せん妄ガイドライン CQ1 非薬物療法予防
菅野 雄介 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野
- P27** CQ2 がん患者に対して、せん妄の発症予防を目的に抗精神病薬を投与することは推奨されるか？
-JPOS/JASCC せん妄ガイドライン 2022 年版 -
貞廣 良一 国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科
- P28** CQ3 がん患者のせん妄には、どのような評価方法があるか？
-JPOS/JASCC せん妄ガイドライン 2022 年版 -
稲田 修士 近畿大学医学部内科学教室 心療内科部門、近畿大学病院がんセンター 緩和ケアセンター
- P29** CQ5 せん妄を有するがん患者に対して、せん妄の症状軽減を目的として、抗精神病薬を投与することは推奨されるか？ -JPOS/JASCC せん妄ガイドライン 2022 年版 -
北浦 祐一 パナソニック健康保険組合 松下記念病院 精神神経科
- P30** せん妄ガイドライン CQ6 トラゾドン
原島 沙季 東京大学医学部附属病院 心療内科
- P31** せん妄ガイドライン CQ7 ヒドロキシジン
和田 佐保 日本医科大学多摩永山病院 精神神経科
- P32** せん妄ガイドライン CQ8 ベンゾジアゼピン系薬の単独投与
長谷川貴昭 名古屋市立大学病院緩和ケアセンター
- P33** CQ9 せん妄を有するオピオイド投与中のがん患者に対して、せん妄の症状軽減を目的として、オピオイドスイッチングを行うことは推奨されるか？ -JPOS/JASCC せん妄ガイドライン 2022 年版 -
岡本 禎晃 市立芦屋病院薬剤科
- P34** せん妄ガイドライン CQ10 非薬物療法治療 -JPOS/JASCC せん妄ガイドライン 2022 年版 -
平山 貴敏 国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科
- P35** せん妄ガイドライン CQ11 終末期せん妄へのアプローチ
竹内 麻里 慶應義塾大学医学部精神・神経科/緩和ケアセンター
- P36** せん妄ガイドライン CQ12 家族の望むケア
角甲 純 兵庫県立大学看護学部
- P37** 治療と就労の両立におけるがん患者の悩みと心理的支援
坂本和歌子 大阪労災病院治療就労両立支援センター
- P38** 病棟がん患者への心理療法における支援内容の分類：階層的クラスタ分析を用いた検討
市倉加奈子 北里大学医療衛生学部
- P39** 緩和ケア診療加算について
松田 良信 市立芦屋病院 緩和ケア内科

10月
15日

ポ
ス
タ
ー
会
場

- P40** 外来治療期のがん患者家族における精神的健康、睡眠、QOLに関する調査
内田 知宏 尚絅学院大学大学院 心理学専攻
- P41** 緩和ケアチームへ紹介された不眠患者に対する経口睡眠薬の選択
竹林 地郁 広島市立広島市民病院 精神科
- P42** 進行がん患者に対する ACT (Acceptance and Commitment Therapy) の実施方法と有効性に関する系統的展望
宇津 聖子 比治山大学大学院 現代文化研究科
- P43** 取下げ
- P44** がん経験者における活動抑制と価値との関連
畑 琴音 早稲田大学人間科学学術院
- P45** サイコオンコロジーと職場復帰支援、治療と仕事の両立支援
織田 健司 東京海上日動メディカルサービス株式会社 第一医療部
- P47** IC 場面での家族・治療システムに対する家族療法的介入事例
吉田 幸平 関西医科大学附属病院 緩和ケアセンター
- P48** 病状否認が強い患者・家族を治療する主科に対する心理師の介入
緒方 杏香 国立がん研究センター 中央病院 精神腫瘍科
- P49** 取下げ
- P50** 孤高に生きてきた患者が、自らのその後を託すことに怒りと拒絶を示した一事例からの考察
- 終末期に患者の意向を汲む支援とは -
柳場 美穂 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科